

令和4年 3月

愛西市立小中学校適正規模適正配置等
検証委員会

令和4年3月 第3回

愛西市立小中学校適正規模適正配置等検証委員会

会議録

開会日時 令和4年 3月11日(金) 午後 1時30分
閉会日時 令和4年 3月11日(金) 午後 3時15分
場 所 愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1、2

| | | |
|-------|------|---------|
| ■出席委員 | 委員長 | 岩崎 恭典 |
| | 副委員長 | 水谷 瀧男 |
| | 委員 | 青山 道男 |
| | 委員 | 三輪田 日出夫 |
| | 委員 | 横井 一之 |
| | 委員 | 諏訪 淑子 |
| | 委員 | 吉次 章浩 |
| | 委員 | 前田 健治 |

| | | |
|-------|----|------|
| ■欠席委員 | 委員 | 伊藤 悟 |
|-------|----|------|

| | | |
|------|-----------|-------|
| ■事務局 | 教育長 | 平尾 理 |
| | 教育部長 | 三輪進一郎 |
| | 教育部次長 | 小島 洋志 |
| | 企画政策部参事 | 伊藤 孝一 |
| | 学校教育課長 | 猪飼 政和 |
| | 学校教育課課長補佐 | 坪井 靖史 |
| | 学校教育課主任 | 大鹿 剛史 |
| | 学校教育課主事 | 伊藤 尚記 |

| | |
|------|----|
| ■傍聴者 | 4名 |
|------|----|

1 開会

2 あいさつ

3 議事

1. 追加資料について

2. 基本方針の検証について

4 閉会

| | |
|--------------|--|
| <p>(事務局)</p> | <p>1. 開会 開会宣言</p> <p>はじめに事前にお配りしておりました1月12日の会議録につきまして修正等ございましたら3月14日(月)までに事務局へご連絡ください。その後、修正したものをホームページへ掲載させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>(教育長)</p> | <p>2. あいさつ</p> <p>本日は、ご多用の中またコロナ禍にもかかわらず、本委員会にご参集いただきありがとうございます。県内では、2月13日までとしておりましたまん延防止等重点措置期間を3月6日まで延長ということで第3回、第4回を延期とさせていただいておりました。この度、3月21日まで再延長となっております。本日もこの措置に従って延期とさせていただくことが本意ではありますが、年度内に検証結果をいただきたいと思い開催とさせていただきました。感染防止に十分配慮して会を進めさせていただきたいと思っておりますのでご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。</p> <p>さて、前回から基本方針の具体的な検証に着手していただいておりますが、本日の事務局からの説明は、前回の委員の皆様方からのご意見を受けての説明が主となります。皆様方には将来の愛西市を背負っていく子どもたちの教育環境を愛西市全体から俯瞰していただくようお願いいたします。</p> |
| <p>(委員長)</p> | <p>前回は1月12日であり、少し間が空いてしまいましたが、振り返りをしながら今日の議論に進めていきたいと思っております。事務局から皆様方から依頼のあった資料をほぼ全て揃えていただいているのではないかと考えています。それらを含めて今日ご説明いただき、基本方針の見直しの方向性について具体的に議論いただければと考えています。</p> <p>本日は会場も広く、間隔も空けていただいておりますので、できるだけ議論もコンパクトにまとめていきたいと思っておりますので議事進行にご協力いただきますようお願いいたします。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>3. 議事</p> <p>それでは、議事の方に移りたいと思っております。議事の進行につきましては、委員長の方で進行をよろしくお願いいたします。</p> |

| | |
|--------------|---|
| <p>(委員長)</p> | <p>はい。今日の議題は大きく2つであります。1つは、前回委員の皆さんから色々ご意見をいただき、揃えていただいた追加資料についてそれぞれご説明いただきたいと思います。それらを受けて前回までの議論の中で基本方針をこういう風に変えていくべきではないかということ赤文字で記載いただいた資料も作成していただきましたのでそれについて議論していきたいと思います。</p> <p>基本方針の検証は、次回も引き続き行う予定であります。前回までに概ねの方向性を決めていただいたと思っております。今日と次回は、より基本方針ベースで具体的に固めていく作業を行っていききたいと思います。</p> <p>では、次第1の追加資料の説明について事務局より説明をお願いします。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>資料1、2、3、について説明</p> |
| <p>(委員長)</p> | <p>ありがとうございました。前回委員の皆様からご要望のありました資料についてまとめていただき、ご説明いただきました。資料1の義務教育学校と小中一貫校は、基本方針の中で9ページに学校規模及び学校配置の適正化を図る手法として小中一貫教育があげてあったわけですが、ここに入れておくことが適切かどうかということを検討するためにこの資料を出していただきました。小学校2万校、中学校1万4千校ある内の100校の事例しか今のところないということとメリット・デメリットについては、想定されるものがあがっていると思います。ただ、これを全面に出して愛西市の小中学校を再編する場合には、少し材料が少ないのではないかと思います。</p> <p>それから、学校選択制もメリット・デメリットを考えますと難しいかなと思います。</p> <p>スクールバスについても前回ご意見がございました。スクールバスの導入というのは考えられるということで全国的にどのようなものがあるのか調べていただきました。こちらに関しては、これから基本方針を固めて具体的な話を始めたときには、スクールバスの検討が必要になってくると思います。その中の愛西市で今走っている福原地区のスクールバスの資料を付けていただきました。これはすごく考えられていると思いました。三重県伊賀市の合併問題のときに少し携わらせていただきましたが、伊賀市は市域が広く、統合小学校、統合中学校には必ずスクールバスを導入するわけです。今になって反省をしますが、スクールバスを直接新設の統合した学校に乗り入れてしまうと文部科学省の基準に従</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>い、徒歩の通学圏を超えたか超えないかの所にお住まいの子どもたちや保護者から見ると、目の前をバスが通るのに乗せてもらえないのかという意見が出てきます。しかし、そこを揺るがしてしまうと点々と拾って学校まで行かなくてはいけない状況になってしまいます。そんな矛盾した話になってしまうのですが、この福原地区では、離れたところまでバスで送迎し、そこから学校まで歩くという方法をとっています。非常に考えられた仕組みだと思います。他の地区でもご紹介したいと思いました。また、スクールバスの事例の中でいいますと、公共交通の再編の話が出ていますが、どこの自治体でも大きく課題となっています。事例にも出ていますがスクールバスとして利用して、昼間の合い間を福祉バスとして利用するであるとか、有償運送も今後可能になってくると思います。</p> <p>ここで、欠席の委員より各資料に関してご意見をいただいておりますのでご紹介させていただきます。</p> <p>義務教育学校と小中一貫校に関して、小中一貫校については、適正規模適正配置の中でついでに論ずるものではなく、愛西市教育委員会として目指す学校教育の実現に向けて小中一貫についてもしっかりと議論して、位置付けていただきたいとのことです。ただその際に市内全域の児童生徒が公平平等な教育を受けられるような計画をお願いしたいというご意見をいただいています。</p> <p>資料 1、2、3 についてご意見等ありますでしょうか。</p> <p>今、市内全域でとのお話がありましたが、例えば佐屋小学校と隣の佐屋中学校だけであれば非常にやりやすいと思います。しかし、学区内には、市江小学校や佐屋西小学校もあります。全てまとめると小学校が 1,000 人近くなりますので市内全域で小中一貫でというのは難しいと思いました。</p> <p>ありがとうございます。小中一貫は、市内全域では難しいというご意見でした。施設一体型や分離型であってもなかなか難しいとのことであると思いますが、理念としてはあり得るかなと思います。義務教育は、自治体の務めでもありますので、小学校中学校が連携して義務教育終了までは愛西市で育つ子どものために努力しなければいけません。課題を抱えているそれぞれの子どもに対して小学校中学校の先生が連携して教育方針や指導の内容について情報を共有して指導していくというのは必</p> |
| (委員) | |
| (委員長) | |

| | |
|-------|--|
| | <p>要だと思えます。小学校に入る前にも幼稚園や保育園とも小学校が連携してというソフト面での幼保小中での一貫というのはあり得ると思えます。施設一体や近接だとしても愛西市全体で方針を打ち出すのは難しいというご意見でした。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p> <p>《意見なし》</p> <p>では、次の資料4について説明をお願いします。</p> |
| (事務局) | 資料4について説明 |
| (委員長) | <p>ありがとうございます。資料4につきましては、前回委員より自分がいた中学校時代から部活動の数は激減しているし、信じられない状況で驚いたということでした。けれども、小学校に関しては60年前と学級数がまったく変化していないので区別すべきではないかとの発言を受けました。今回過去に遡って調べてみていただいて、欠席の委員からは、小学校の児童数を過去100年の推移をみると、永和、佐屋、勝幡、草平、西川端小学校では戦後のベビーブームを除けばほぼ横ばいで、立田南部、立田北部、八輪、開治の4校は約4分の1まで減っているとのこと。それを考えると、立田八開地区だけの統合を考えるということは、一時の人数合わせにしかならないのではないかというご意見をいただきました。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p> <p>《意見なし》</p> <p>では、次の資料5について説明をお願いします。</p> |
| (事務局) | 資料5について説明 |
| (委員長) | ありがとうございます。資料5について補足等ありますでしょうか。 |
| (委員) | 事務局に説明いただいたとおりであります。ただ、国が定めている学校の使用期間ではほぼ築50年に達する建物が70.4%あります。それに対し |

| | |
|-------|---|
| | <p>て、愛西市の予算の関係もあるとは思いますが、50年も経っているのに予防保全である全面改修を部分補修だけしかしていない状況です。予算の関係もあるとは思いますが、注視していただきたいです。</p> <p>多くの学校が耐久年度を迎える中、どことどの統廃合ではなく、全域で考えた方がいいのではないかと思います。</p> |
| (委員長) | <p>佐織中以外は、最初からやり直すという考え方でいいという意見だと思います。</p> |
| (委員) | <p>愛西市の地形が三日月形をしていますので今の学校の位置近くでというのはうまくいかないかもしれません。全部が建て替え等をしていかなければならないので全体で考えた方がよいと思います。</p> |
| (委員長) | <p>他にご意見等がありますでしょうか。</p> <p>欠席の委員より意見をいただいています。</p> <p>ハード面の調査結果からは、評価値Ⅰのものから優先して着手されるべきであり、この学校を最初に改築もしくは廃校とする候補とすることは説得力があると考えますとのことです。</p> <p>前回の委員会でも優先順位という話がありました。優先順位を付けていかざるを得ないであろうというときにこの老朽化の現状と最終的にはお金がどれくらいかかるのかということを経くても算定していかなければならないと思います。部分改修や改築をすればどれくらいかかるのかも考えていかなければならないと思います。そういった改築や廃校を決める候補をこの評価値を参考にしながら決めていかなければならないというご意見だと思います。</p> <p>ここまでが前回までの委員会で皆さんからご要望のあった資料についての説明でしたが、資料1から5まで通じて改めてご意見等がありますでしょうか。資料の追加を求めていただいても構いませんのでお願いいたします。</p> <p>(委員)</p> <p>色々考えると先程の小中一貫で考えることはなかなか難しいという話と今の老朽化の優先順位を考えると、小学校と中学校は分けながらも使える施設を考えながらやっていかなければいけない難しい状況だと思いました。</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>(委員長)</p> | <p>基本方針としては、その手順の考え方みたいなものを出しておけばいいかなと思います。</p> <p>前回までの皆様の意見でまずは中学校から手を付けていくべきだとの話があったと思います。中学校から考えていくときにこの老朽化の提言の中でいうと比較的中学校は、まだましであると思いますがそこをシビアに考えながら小学校の配置等を合わせて考えていく整理の仕方ではないかと思います。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>今まで、最低、過小規模校は避けていこうという話もありました。老朽化でみるとまず評価値 I は早めに着手していかねばならないということも思ってしまいます。それがうまく一致していればいいのですが、これで見ると評価値 I の佐屋小、佐屋中は、一番適正規模であります。この 2 つをどのようにみていくかということも非常に悩むところであります。立田は、一致していますのですぐに皆さんも理解してもらえと思っています。佐屋でいくとどっちを取るのか悩ましいところであると思います。</p> |
| <p>(委員長)</p> | <p>ありがとうございます。基本方針の考え方を検討するのが使命でありますので今のご意見のとおり評価値 I を早めに着手していくということを前提にして中学校から考えていくとなると、施設面からの優先順位は付けやすいだろうと思います。ただ、適正規模論からいくと必ずしもそれが優先順位の通りにならないところをどう考えるかということも大きな課題だと思います。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>平成 27 年度当時に携わらせていただいていた、当時のことを思い返してみますと、まずは適正規模ということで人数の少ないところをどうにかしようということがスタートでありました。そういうことで立田八開が出てきた。さらに市江や永和とかという話もありましたが、今回はまず立田八開について色々と考えていこうということで 3 つの案が最終的に出てきたのだと思っています。いずれにしても人数の少ないところは、解消しないといけないというのは変わらないと思いますし、立田をみると全て評価値 I であります。建物が危ないところで子どもたちを生活させてはいけないのではないかと思います。建物を新しくすると同時に適正規模をからめてやっていくことが大事だと思います。先程佐屋の話もありました。以前は立田八開地区の話でしたが、今は建物のことを考えながら全市的に考えないといけないと思っています。</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>(委員長)</p> | <p>ありがとうございます。老朽化のことも考えると立田八開だけの話ではないということでした。</p> <p>他にご意見等がありますでしょうか。</p> <p>《意見なし》</p> <p>では、こういった資料をベースにして資料 6 の基本方針の修正案 3 について事務局より説明をお願いします。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>資料 6、7 について説明</p> |
| <p>(委員長)</p> | <p>ありがとうございます。資料についてご意見等ありますでしょうか。</p> <p>欠席の委員より意見をいただいています。</p> <p>6 ページに引用していただいている手引きが最新であるのでその手引きに適正規模適正配置、合意形成、小規模校を存続させる場合がしっかりと書かれているので、それを参考にするのは重要であるとのこと。資料 7 についても、小学校よりも中学校の小規模校の方がマイナス面が大きいというのがよく分かるのご意見をいただいています。基本方針の検証についての意見として、まだ先の話にはなりますが、今回の見直しに当たっては、見直し検討委員会からの提案を受けたなら市民の合意が得られる計画として、市の計画として定める前にアンケート、公聴会、パブリックコメント等を行って、広報により検討状況をきめ細かく情報提供することが必要ですのご意見をいただいています。</p> <p>基本方針の検証についての意見の今後の手順については、適正規模の基本方針の検証結果を受けて、愛西市の具体的な小中学校の再編計画を練っていく過程で注意すべき事項ということで特記しておくべきことだと思います。</p> <p>特に事務局の方から検討してほしい内容として 6、7、8、9 ページの部分だと思いますが、大規模校における利点と課題について考慮しなくていいのでしょうか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>過去の資料にもありました今後の推移をみますと、大規模校が外れて適正規模になってきますので基本方針から削除させていただいておりま</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>すが、上限を考える上で議論する必要があるということであれば、基本方針に記載する必要があると思っております。</p> |
| (委員) | <p>11 ページの (4) 小中一貫校と義務教育学校についての中身の文章は、どういう風に考えてみえますでしょうか。</p> |
| (事務局) | <p>資料を作成する段階では、本日の資料 1 から受けた皆様のご意見を伺い作成しようと思っておりました。皆様からの意見を拝聴しておりますと、今愛西市の中で全面にだして義務教育学校や小中一貫校を進めていくというよりは、選択肢の一つとして今後の学校の統廃合や適正規模が進んでいく中で、その時その時で検討する際に条件の一つとして記載しておくというのがいいのではないかと事務局としては感じておりました。そのような文面を入れさせていただこうかと思っております。</p> |
| (委員) | <p>まったく触れないということではいけないと思いますし、小中一貫校や義務教育学校が小規模校のデメリットをカバーすることができる面があります。特に教職員関係のデメリットというのは、これでかなりカバーできると思います。ただ、自分も義務教育学校の勤務体制等分かっていないのですが、適正化のための一つの大事な要素で考慮しておく必要があると思います。</p> |
| (委員長) | <p>新しい学校像を追い求める場合、小中一貫校等は視野に入れておかなければならないと思います。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p> |
| (委員) | <p>資料 7 をみさせていただくと、小規模校の利点もなるほどと思える部分があるのですが、それにもまして課題の方がすごく多く上げられているということが分かりましたので、やはり小規模校は避けていかなければならないというのがよく分かりました。ここに上がっている課題はどれもデメリットとして基本方針に載せておきたいものではあるのですが、非常に膨大でありますので抜粋していただいているものでよいと思いました。</p> <p>7 ページの学習・生活の一番下の文章について多様な活躍の機会が「無く」とありますが「少なく」等の表現に変えた方がよいと思います。</p> |
| (事務局) | <p>ありがとうございます。表現を「少なく」等に修正させていただきま</p> |

| | |
|--------------|---|
| <p>(委員長)</p> | <p>す。</p> <p>7 ページの大規模校における利点と課題について、先程事務局から説明がありましたが、大規模校が適正規模になっていくという見通しから特に基本方針に記載しなくてもよいのではないかとのことでしたが、皆様削除してよろしいでしょうか。</p> <p>《異議なし》</p> <p>ありがとうございます。それでは、削除とさせていただきます。</p> <p>8 ページの適正化の要件についてご意見等ありますでしょうか。項目等も付け加えることもありますでしょうか。</p> <p>今日の老朽化の報告を受けて、老朽化度合いをみて適正化を優先すべきという文言を入れた方がよいと思いますがいかがでしょうか。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>先程資料 5 をみたときに立田南部小、立田北部小、立田中は全て評価値 I なので早めに着手した方がよいというのは分かるのですが、八輪小、開治小、八開中は、施設はまだまだという感じがします。しかしながら、人数の変化をみると必ず全て残すことはよくないので、老朽化の優先順位の高いものから手を付けていくという書き方はよくないと思います。</p> |
| <p>(教育長)</p> | <p>老朽化については、適正化の要件や 9 ページの適正化を図る手法等においてクローズアップはさせていただこうとは思っております。次回までに考えておきます。教育委員会としては、どちらも大切なことではあると考えておりますが、両方を十分な条件でというのはなかなか難しいと考えます。いずれにしても、子どもの育ちという部分に軸足を乗せていきたいと思っております。</p> |
| <p>(委員長)</p> | <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p> <p>事務局としても聞いておきたいことはありますか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>委員長におっしゃっていただいた 6、7、8、9、10 ページといったところは、今後基本方針を作成する上でも基になるので大事な部分だと思っております。</p> |
| <p>(委員長)</p> | <p>学校規模の適正基準や適正化を図る手法の部分についてご意見等あり</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>ますでしょうか。</p> <p>《意見なし》</p> <p>ありがとうございます。次回までに意見を事務局へいただいても構いませんし、次回でも構いませんのでご意見をいただければと思います。</p> <p>では、今後のスケジュールはどのようになりそうでしょうか。</p> <p>(事務局) 次回の委員会は、3月17日(木)午後1時30分よりこちらの会場にて開催いたします。また、第5回は、3月25日(金)午後1時30分よりこちらの会場で予定しております。第5回では、検証結果をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>(委員長) あと2回で基本方針については年度内に固めて報告をする形となり、次年度から具体的な話をしていくことになるのでしょうか。</p> <p>(事務局) おっしゃる通り年度内にこの委員会で検証結果を取りまとめていただきたいと思ひます。その中で今の基本方針についてこういった形がいいのではないかとひいう検証結果を教育委員会がいただいた後に、予定ではありますが総合教育会議等で今後の進め方について市長部局と意見交換をさせていただきます。そして次の検討に入っていく準備を進めていく予定です。</p> <p>(委員長) ありがとうございます。この委員会では、基本方針を見直すべきだと決めて、見直すとしたらこのような基本方針にしたらいひいのではないかとひいうことを決めさせていただきますと思ひます。</p> <p>次回が色々なご意見をいただく最後の機会となると思ひますので皆様には、ご協力いただきたいと思ひますのでよろしくお願いたします。</p> <p>以上で第3回愛西市立小中学校適正規模適正配置等検証委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>4. 閉会</p> |
|--|--|